



## 平成27年4月からの 救急外来担当医新体制について

平成27年4月1日から、救急部長の近藤と八嶋朋子医師が着任し、非常勤医師として定期的に勤務していただいている藤田保健衛生大学病院の田口瑞希医師、多和田哲郎医師を併せ、新しい救急部が発足しました。この4人を軸として、平日の日勤帯は救急部専任医師1名と救急当番医1名が救急搬送された患者さんの初期診療にあたり、平日の午後はさらにもう2名の救急当番医が加わり、徒歩で来院された患者さんも含めた救急診療を行なっています。平日の夜間と休日は従来どおり、内科系医師1名、外科系医師1名、救急担当医3名で診療にあたっています。さらに、専門領域への緊急コンサルトが必要と判断された場合は、各専門領域の担当(待機)医師が365日・24時間体制で対応しています。



この新体制にて救急部専任医師が常在することで、診療内容の充実を図るとともに、若手医師の育成にも大きな効果が得られることが期待されます。しかし、全国屈指の当院救急患者数(昨年度救急搬送患者数10,241名、救急外来受診者数36,407名)に対応するにはこれでも不十分なスタッフ数であることは事実です。それでも、医療の質を下げることなく、できる限り多くの救急患者さんを受け入れるために、若手医師や各専門分野医師の献身的で多大な協力を得て、毎日の診療が成り立っています。皆様におかれましては、体の異変に気付かれた時には放置や我慢することなく、重症化する前にかかりつけ医や当院各診療科の早期受診をおすすめするとともに、救急車の適正利用にご協力いただくようお願いいたします。

3次救急も見据えた基幹病院として救急医療体制のさらなる充実を図り、市民の皆様がいつでも安心して受診できる地域医療の要として居続けられるよう、病院全スタッフの協力を得ながら日々努力していく所存です。これからもよろしくお願いいたします。

救急部長 近藤 圭太



# コンビニエンスストアがオープン！

6月16日(火)、当院内に、市内の公共施設では初となるコンビニエンスストア「ローソン春日井市民病院店」がオープンし、当院の新しい顔が誕生しました。

これまで、来院された皆さんからは「コンビニエンスストアを設置してほしい」という声が多く寄せられていたため、設置を検討してきました。

コンビニエンスストアを設置したことで、中央ホールに華やかさと活気をもたらされています。また、来院される方や入院患者さんへのサービスが格段に向上しました。



## 営業時間

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 平日      | 午前7:30 ~ 午後9:00 |
| 土・日・祝休日 | 午前7:30 ~ 午後7:00 |

## 店長に聞いてみました

Q どのようなものを買うことができますか？

A 常時2,000から2,500点の販売商品を揃えています。入院用品や医療物品等はもちろん、人気の挽きたてコーヒーやドーナツなど、オリジナルブランドの商品もお買い求めいただくことができます。

Q どのようなサービスがありますか？

A 銀行ATMを設置しているほか、ゆうパック、郵便ポスト、ギフト予約、デジカメプリントなどのサービスを行っているほか、Loppi (ロッピー) を使ってコンサートチケット、交通チケットも購入できます。

また、マナカなど電子マネーも使用できます。



Loppi



挽きたてのコーヒーを楽しむことができます。



入院用品も豊富に取り揃えています。



## 平成26年度病院満足度調査

当院では、より良い病院を目指すため、入院患者、外来患者の皆さんがどのように感じ、何を求められているかをお聞きする満足度調査を毎年秋に実施しています。調査の結果は病院ホームページで報告するとともに、この結果を参考とし、さらなる医療サービスの向上に努めています。

### 調査概要

調査期間 平成26年10月27日から同月31日  
調査対象 当院の入院患者及び外来患者  
回収数 外来 778  
入院 247  
調査項目 外来 職員について、施設・設備について、待ち時間について 等  
入院 情報提供について、給食について 等  
評価方法 満足、ほぼ満足、普通、やや不満、不満の5段階評価

### 総合評価

今回のアンケート調査の結果、前年度と比較して良い評価をいただきました。

満足・ほぼ満足 外来 63.2% → 65.4%  
入院 80.4% → 81.2%

#### 満足度が増加した項目…満足・ほぼ満足との回答が増加

【外来】「職員について」 (68.6% → 70.7%)  
「施設・設備について」 (61.7% → 64.9%)  
【病棟】「情報提供について」 (43.3% → 48.5%)

#### 満足度が低下した項目…やや不満・不満との回答が増加

【外来】「待ち時間について」 (14.2% → 14.9%)  
【病棟】「給食について」 ( 5.4% → 6.9%)

- ・待ち時間の短縮を図るとともに、お待ちいただく時間を少しでも快適に過ごしていただけるよう努めます。
- ・入院中の食事であり、制限がありますが、より満足していただけるよう努めます。

今後も、地域の基幹病院として救急医療や高度かつ専門的で質の高い医療を提供するとともに、当院を利用される皆様の立場に立った医療サービスを提供してまいります。

### 平成26年度の主な取組事項

#### ○脳卒中センターの開設、糖尿病センターの拡充

脳卒中及び糖尿病に対する急性期医療及び高度専門医療を提供する体制を強化しました。

#### ○医療機器の充実

最新型の心臓血管撮影装置への更新を行い、設備の充実を図りました。

#### ○文書センターの設置

診断書等の交付窓口を文書センターに一本化し、利用される方に分かりやすく迅速な対応を行っています。

## シリーズ 薬の使い方（第7回）

### 意外に勘違いしているかも ～点眼薬の使い方～ 薬剤科 稲垣 志郎

誰でも1度は使用したことがある点眼薬ですが、意外に使い方を誤って点眼していることも多いようです。

点眼薬は何滴も点眼した方が効きが良い気がして、ついつい何滴も点眼してしまいがちですが、人間の目には1滴以下の薬しかしみこみませんので、よく効かせようと思って一度に何滴も点眼することは意味がありません。

また点眼した後に目をパチパチさせる方もいますがこれも不要です。せっかく点眼した点眼液が涙と一緒に目頭の方に集まって、涙点という涙の流出口から喉の方へ流れていってしまいます。点眼後は目を閉じ、目薬を眼球に行き渡らせることがポイントです。さらに目頭を押さえることで、目薬が涙管という涙の通路を通して鼻に流れ出すのを防ぎます。



2種類以上の点眼薬を使用する場合、5分間ほど間隔を空けて点眼するのがよい方法です。間隔を空けずに点眼した場合、先に使用した点眼液が後から使用した点眼液によって鼻や喉に流れることがあるからです。また、成分どうしが反応しあったりして、効果に影響が出ることもあります。

点眼薬は市販されているものも多く、錠剤や坐薬に比べて使用が簡便ですが、このような注意点があります。よりよい効果を得るためにも、大切な医療費の節約のためにも、正しい点眼方法は大切です。



正しい使用法を知って、  
薬の本来のチカラを引き出しましょう。



## 第42回市民公開講座を開催しました

6月13日(土)、市民病院に隣接する総合保健医療センターにて「前立腺がんと放射線治療」をテーマに、第42回市民公開講座を実施しました。当日は約130名の方が来場し、熱心に聴講されました。

また、今回初めて実施した尿トラブル相談コーナーをはじめ、健康チェック、お薬相談コーナーも好評でした。

次回は9月26日(土)に東部市民センターにおいて「肝臓の病気」をテーマに開催する予定です。

詳細については、広報、院内掲示、ホームページをご覧ください。

